



あなたの「はあと」が地域のチカラに変わる情報マガジン

2019.07-08
Vol.408
TAKE FREE
ご自由にお持ちください

Volunteer ボランティア

僕たち、
みんなの
メダルプロジェクト
取り組みました！

12 つくる責任
つかう責任



千代田区のみんなが
笑顔になる
ボランティア活動 ▶ p.2

Join us!

患者さんと病院の橋渡し ▶ p.4

趣味・特技を活かして地域のパパ・ママ応援 ▶ p.4

心に障がいがあっても仕事の悩みを話せる場づくり ▶ p.4

病気の子どもと家族のための滞在施設ボランティア ▶ p.5

東京でできる国際支援！ ▶ p.5

編み物好き集まれ！ ▶ p.6

ホットニュース ▶ p.7

武蔵野大学附属千代田高等学院
SDGs の取り組み



ちよだボランティアセンター
公式フェイスブック公開中



いいね！ 808名(2019.6現在)



千代田区のみんなが笑顔になるボランティア活動

—誰かのために 自分のために—

ボランティア活動は人と人とのつながりです。ボランティアの語源や歴史を振り返りつつ、現在活動しているボランティアの方がどのような想いで活動しているのか見ていきます。

ボランティアは湧き出るマグマ!?

元々、Volunteerの語源は volo (ヴォロ) というラテン語。英語の will 「意思」や「～したい」という意味があります。また、volo という言葉は、volcanoes (ボルケーノ) 火山という言葉と関係があり、抑えきれず湧き出るマグマを想像するかのよう、人々が自発的に活動することを指します。ボランティアが広く日本国内に知られるようになったきっかけが、1995年に起きた「阪神・淡路大震災」です。この時支援に携わった人々が、「ほっとかれへん!」という想いで行動し、発災からの1年間で延べ約140万人の人々(兵庫県資料より)がボランティア活動に関わっています。



ボランティア活動の4原則

ボランティア活動、と聞いて難しいのかな…と思う方もいるかもしれません。しかし、以下に挙げる4つのポイントを押さえておけば、身近なところでボランティア活動はできます。

- 1) 自発性・主体性…誰から頼まれたわけではなく、自分から進んで始める。
- 2) 社会性・連帯性…お互い支え合い、力を合わせて行動する。
- 3) 無償性・無給性…利益や見返りを求めない。笑顔が最高の報酬。
- 4) 創造性・開拓性・先駆性…自由な発想で目の前の課題を突破する。

魅力は、新たな出会い、発見、活動の創出

ボランティア活動をする中で、困りごと(課題)に気づき、さらに新たな活動を創り出したり、ボランティアに関わる人々との新たなつながりが生まれることがあります。

そんな魅力的なボランティア活動をしている皆さんにお話を伺いました。



「キャベツマラソン」ボランティアの皆さん

ボランティアは無限の可能性

まずは、外国人旅行者に皇居周辺の観光案内をしているグループ「東京・フリーウォーキング・ツアー」の中野さんです。

「ちょっとした好奇心から始めた活動が、仲間を作ることによって、新しい活動を生みました。ボランティアは無限大の可能性あります」(東京・フリー・ウォーキング・ツアー中野さん)

自発的な活動がゆえに新しい活動が生まれる可能性が確かにあると思います。



ボランティアの魅力を笑顔で語る中野さん

ボランティアを通じて接し上手になりました

福祉課題に関わるボランティア活動をしている方にも、お話を伺いました。

「様々な方と接することで、接し上手になって、結果的に自分を高めることができています」と語るのは、高齢者が集まるサロンを開いているボランティアグループの方です。(居場所づくりのボランティア活動の方)

みんなの笑顔を見るのが楽しみ!

「身につけている技術や学んだことを活かすことで、喜んで笑う顔を見ることができていることが励みになっています。『また、来てください』と言われるのが嬉しいですね」(東京アマチュア・マジシャンズクラブ 三好さん)

多くの人の笑顔を見たいと語る三好さんの笑顔が印象的です。



愛用の道具をかかえる三好さん

ボランティア活動には特別な知識も技術がなくても参加できます。ボランティアを始めた動機は百人百様。

内閣府が発表した『市民の社会貢献に関する実態調査』では「社会の役に立ちたい」「自分や家族が関係している活動への支援」「自己啓発・成長」などが、主な参加の理由に挙げられていました(表1)。

ボランティア活動参加理由(表1)

1 社会の役に立ちたいと思ったから	47.7%
2 自分や家族が関係している活動への支援	30.4%
3 自己啓発や自らの成長につながると考えるため	30.1%

想いを伝えあい、お互いが楽しい場所に

今回、ちよだボランティアセンターではボランティア活動に大切な、人との関わりのためのコミュニケーションを

今回の学習会

傾聴力を培い、コミュニケーションを広げよう～高齢者と接するコツ～

参加費：無料

【学習会ではこんなことが学べます】

- ・ 笑顔を引き出すため、「話し上手」「聴き上手」になるコツを聞くことができる
- ・ 自分も相手も、楽しく充実できるコミュニケーションの取り方を学ぶことができる
- ・ 高齢者と接する時だけでなく、日常でも活用できる

相手の気持ちに寄り添い、相手が話をしやすい雰囲気づくりと、あいづちなどの姿勢を見せることで、スムーズな人間関係が構築できやすくなります。

相手を理解しようとすることは、結果として自分の内面を見つめることにつながります。人間関係をより良好に、そして深いものに変えていくきっかけがつかめます。

・日 時: 8月3日(土)
13時30分～15時30分

・場 所: かがやきプラザ4階研修室1・2

・講 師: 尾渡順子氏

医療法人中村会 介護老人保健施設あさひな
認知症介護レクリエーション実践研究会
著書に「みんなで楽しめる高齢者の年中行事&レクリエーション(ナツメ社)」「介護現場で使えるコミュニケーション便利帖(翔泳社)」「笑わせてなんぼのポジティブレクリエーション(日総研出版)」「もう悩まない! 介護レク入門」(BAB ジャパン)他、多数。



・対 象: 区内在住、在勤、在学の方、区内で活動している方

申込先: ちよだボランティアセンター TEL: 03-6265-6522 FAX: 03-3265-1902
E-mail: volunteer@chiyoda-cosw.or.jp



のアイコンについて



「ボランティア」「講座・イベント」「助成金」の情報ページでは、SDGs（「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」）

の17のアイコンで活動内容を表示します。「誰一人取り残さない」社会を目指す世界の共通目標（国連加盟193か国が2030年までに

達成する目標）を千代田の地域づくりにも生かし、みなさんと「ともにできること」の輪を広げていきます。

11 住み続けられるまちづくりを

障害者福祉センターえみふる
えみふるの納涼会で
夏の暑さを一緒に吹き飛ばしましょう！

毎年恒例の「えみふる」納涼会の季節です。地域の皆さんと一緒に模擬店や盆踊りなど盛り上がりま。今年もお手伝いしていただける方を募集しています。皆さんのご応募お待ちしております。



日 時 7月27日（土） 9:00～15:30

場 所 障害者福祉センターえみふる（千代田区神田駿河台2-5）

内 容 ①盆踊りのサポート、雰囲気作り ②会場設営、片付けのお手伝い ③模擬店、ゲームコーナーのお手伝い

募集人数 10名程度 **募集期限** 7月19日（金）

問 合 せ
障害者福祉センターえみふる 担当：川上、吉川（支援員）
TEL：03-3291-0600 FAX：03-3291-0608
E-mail：emifuru@chime.ocn.ne.jp

3 すべての人に健康と福祉を

三井記念病院
患者さんと病院の橋渡し
ボランティア募集

100年を超える歴史を積み重ねてきた現在になって、患者さんにとって最善の医療を提供することをモットーに安全で、高度な医療を展開しております。病院の趣旨を知っていただき、訪れる患者さんと病院の橋渡し役としてボランティア活動に参加してくだいませんか。



日 時 月～金曜日 8:30～13:00のうち3時間

場 所 三井記念病院 1階フロアおよび3階フロア（千代田区神田和泉町1）

内 容 外来患者さんへのご案内（受付機・支払機等）手荷物運び・車いす移動といった患者さんのお手伝い

問 合 せ
社会福祉法人 三井記念病院 担当：リレーション部 山崎清美
TEL：03-3862-9111

ボランティア情報

3 すべての人に健康と福祉を

ちよだワークミーティング
心に病や障がいがあっても仕事の悩みを
安心して話せる場の、運営スタッフ募集

心に病や障がいがあり、仕事に関する様々な悩みや葛藤を持つ当事者の方たちが安心してお話できる場「ちよだワークミーティング」。現在、活動を行うにあたり人手が足りない時もあります。そこで、運営のお手伝いをしていただける方を募集しています。

日 時 毎月第2水曜日 18:30～20:30

場 所 障害者福祉センターえみふる 5階（千代田区神田駿河台2-5）

内 容 1) 事前準備と片付け、イベントの手伝い
2) 開催中、当事者のお話を聞く

募集人員 若干名

問 合 せ
ちよだ「笑桜会ぴあ」 担当：小林（代表）
TEL：080-6621-1049 E-mail：yh-koba@nifty.com

11 住み続けられるまちづくりを

子育てサロン in 神田公園区民館
趣味・特技を活かして
地域のパパ・ママ応援♪

子育てサロン内でプログラムの企画と運営を行っていただける個人、団体、企業の方を募集しています。趣味、特技などを活かして一緒に地域の子育て世帯の皆様楽しんでもらえる居場所をつくりませんか？

日 時 毎月1回、水曜日もしくは土曜日
水曜日開催の場合 → 14時30分～15時頃
土曜日開催の場合 → 10時30分～11時頃

場 所 神田公園区民館 3階（千代田区神田司町2-2）

内 容 子育てに役立つワークショップや講座、親子で楽しめる出し物など（対象は0歳～3歳のお子さんとその親御さん）

問 合 せ
千代田区社会福祉協議会 地域支援係 担当：新元（しんもと）
TEL：03-3265-1901 FAX:03-3265-1902
E-mail：chiiki@chiyoda-cosw.or.jp

4 質の高い教育をみんなに

認定 NPO 法人エファジャパン
初めての方でもすぐに参加できる、
東京でできる国際支援！

今年、設立15周年を迎えた国際 NGO 「エファジャパン」では、月1回発送物の準備や、書き損じハガキの整理などの事務作業をお手伝いいただけるボランティアの方を募集しています。また、主催イベントや外部への出展イベントのお手伝いもあります。書き損じハガキのカウント作業など、初めての方でもすぐに参加できます。

日 時 毎月最終木曜日（原則）10:00～17:00頃
・12:00～13:00はお昼休憩です。※ご都合の良い時間、好きな時間から好きなだけご参加いただけます。

場 所 エファジャパン事務局（千代田区九段南3-2-2 九段宝生ビル3階）

募集人数 若干名

問 合 せ
認定 NPO 法人エファジャパン 担当：五味
TEL：03-3263-0337 FAX：03-3263-0338
E-mail：info@efa-japan.org URL：http://www.efa-japan.org

11 住み続けられるまちづくりを

ふれあいサロンクローバー
一緒に“手作りカフェ”
楽しみませんか。

高齢者の方向けに、お茶を飲みながら楽しく話せる“手作りカフェ”のサロンです。紅茶サロン、笑いヨガ、スポーツ吹矢など、ボランティア全員が毎月楽しい企画を考え、運営しています。

日 時 毎週第1水曜日14:00～15:30

場 所 富士見区民館2階（千代田区富士見1-6-7）

内 容 高齢者向けサロンの企画・運営
①高齢者の方々とふれあい・お話し相手
②当日のお茶やお菓子の配布、など

募集人数 2～3名 ※継続して参加いただける方を希望。まずは初回見学にお越しください。

問 合 せ
ちよだボランティアセンター
TEL：03-6265-6522 FAX：03-3265-1902
E-mail：voluntter@chiyoda-cosw.or.jp

3 すべての人に健康と福祉を

認定 NPO 法人ファミリーハウス
病気の子どもと家族のための滞在施設
ボランティア募集

「ファミリーハウス」は、小児がんなどの難病治療のために、自宅を離れて東京の専門病院で治療を受ける子どもと家族が、「安心・安全・安価」に、我が家のように過ごせる施設です。ハウスを安全に利用してもらうためには、多くの手が必要です。ボランティアの皆さんの協力をお願いします。

日 時 まずはボランティア説明会に参加し、ボランティア登録してください。※日時はお問い合わせください。

場 所 都内の各施設 他

内 容 施設（ハウス）の清掃、備品補充、電化製品の作動確認、施設内菜園の手入れ、イベントのお手伝い、事務作業、ホームページ更新など

募集人数 20名

問 合 せ
認定NPO法人ファミリーハウス 担当：植田
TEL：03-6206-8372 FAX：03-3256-8377
E-mail：jimukyoku@familyhouse.or.jp
URL：http://www.familyhouse.or.jp

11 住み続けられるまちづくりを

ひつじの会メンバー募集
編み物好き集まれ！
心もほっこり手編みボランティア

「ひつじの会」では、一緒に手編みを楽しむメンバーを募集しています。座布団、ひざ掛け、肩掛けなども作っています。出来上がったものは、高齢者のサロンや福祉施設などにプレゼントしています。



日 時 毎月第3土曜日 10:00～15:00

場 所 かがやきプラザ4階 会議室（千代田区九段南1-6-10）

問 合 せ
ちよだボランティアセンター
TEL：03-6265-6522 FAX：03-3265-1902
E-mail：voluntter@chiyoda-cosw.or.jp



はじめて
ボランティアを
する方へ

①活動先が決ったら事前確認をしましょう！

受け入れ先が活動内容や注意点を説明しますので、安心してご参加ください。また、ご自身でも参加条件や費用などを事前にご確認ください。直接連絡しにくい事や心配な事は、当センターにお気軽にご相談ください。

②ボランティア保険に入りましょう！

「ボランティア保険」は活動中の事故に備える心強い存在。当センター窓口、または最寄りの区市町村にある社協・ボランティアセンターで加入手続きができます。
※加入手続きの場所に関係なく、日本国内での活動が保険対象です。（年度更新が必要）

ボランティア保険概要

補償内容	傷害保険（ボランティア自身のケガ） 賠償責任保険（対象者の身体や財物等の損害）	保 険 料	300円～1,400円 （6つのプランにより異なる）
補償期間	4月1日～翌年3月31日まで ※途中加入の場合：加入手続き日の翌日から適用		

講座・イベント情報



社会的問題をテーマにした映画上映会 MIW ビデオサロン『にんじん』

千代田区男女共同参画センター MIW では、毎月第3金曜日、所蔵するドキュメンタリーや社会的問題をテーマにした映像作品を上映しています。
上映の後にはみんなで感想を語り合うカフェタイムもあります。ぜひ、気軽にお立ち寄りください。



日時 7月19日(金)

第1回: 14:30 ~ 第2回: 18:30 ~

会場 MIW 交流サロン

(千代田区九段南1-2-1) 千代田区役所10階

定員 20名程度(直接会場にお越しください) ※先着順

参加費 無料

申込・問合せ先

千代田区男女共同参画センター MIW (ミュウ)
TEL: 03-5211-8845 FAX: 03-5211-8846
E-mail: miw@city.chiyoda.tokyo.jp
URL: <https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/kurashi/danjo/miw/index.html>



かんだ連雀ボランティア説明会 住みなれた街「千代田区」でいつまでも

住みなれた街「千代田区」で、いつまでも暮らし続けられるように、高齢者の皆さんの生活をサポートしています。「これができたら人生満足!」と思える趣味嗜好のお手伝いなど、ボランティアの皆さんも楽しく参加できる取り組みをご説明します。実際に活動している方の体験談、施設見学もあります。



日時 8月22日(火) 13:30 ~ 15:00

会場 かんだ連雀(千代田区神田淡路町2-8-1)

対象 不問

申込・問合せ先

ちよだボランティアセンター
TEL: 03-6265-6522 FAX: 03-3265-1902
E-mail: volunteer@chiyoda-cosw.or.jp



認知症ケア研修 認知症と共に生きる

39歳で若年認知症と診断後の苦しかった日々からどのように笑顔を取り戻せたのか。認知症当事者だからこそ語れるエピソードを交えたお話を伺い、新たな気づきを得ます。



日時 7月20日(土) 14:00 ~ 16:30

会場 かがやきプラザ1階 ひだまりホール
(千代田区九段南1-6-10)

講師 丹野智文氏(おれんじドア代表)

対象 認知症・認知症ケアに関心のある方
介護・福祉・医療の仕事に携わっている方

定員 70名(申込順)

参加費 500円(千代田区在住の方は無料)

申込・問合せ先

かがやきプラザ研修センター
TEL: 03-6265-6560 FAX: 03-3265-1162
E-mail: jinzai@chiyoda-cosw.or.jp
URL: <http://www.chiyoda-cosw.or.jp/kensyu-c>



認知症サポーター養成講座(7月) いっしょに認知症の人と その家族を支えませんか

認知症サポーターは、特別なことをする人たちではありません。認知症について正しく理解し、認知症の人とその家族をあたかく見守り、声かけやちょっとした手助けができる地域の応援者です。認知症サポーターとして、地域で活動するために必要な知識を学びます。いっしょに認知症の人と家族を支えませんか!



認知症サポーターキャラバン

日時 7月27日(土) 10:00 ~ 12:00

会場 かがやきプラザ4階研修室(千代田区九段南1-6-10)

内容 認知症の基礎知識、認知症の人への接し方、家族の気持ちの理解、認知症の方を支える活動、ボランティア入門講座

対象 区内在住・在勤・在学の方

定員 30名(申込順) **参加費** 無料

申込・問合せ先

かがやきプラザ研修センター
TEL: 03-6265-6560 FAX: 03-3265-1162
E-mail: jinzai@chiyoda-cosw.or.jp
URL: <http://www.chiyoda-cosw.or.jp/kensyu-c>

助成金・その他の情報



一般財団法人松翁会 2019年度社会福祉助成金のお知らせ

○**対象団体**: 原則として法人・団体であること(法人格不問)

○**対象事業**: 障がい者の福祉向上案件および難病案件、虐待防止案件。

○**助成内容**: 1件あたり10万円~60万円。

○**受付締切**: 2019年7月31日(水) 必着 ○**詳細情報**: http://shouhoukai.or.jp/zaidanhojin_shououkai/



公益財団法人 公益推進協会 緩和ケア普及推進基金

○**対象団体**: 国内において実施される活動で、以下の要件のいずれかをすべて満たしたもの。

(1) 緩和ケアに対する様々な普及啓発活動

(2) その他この基金の目的達成に資する活動

(3) NPO法人、公益社団法人、公益財団法人、医療法人、社会福祉法人

○**助成内容**: 総額250万円(1事業あたり50万円を上限とする。) ○**受付締切**: 2019年7月29日(月) 消印有効

○**助成件数**: 5団体程度 ○**詳細情報**: <https://kosuikyo.com/3145>

ホッとニュース

日頃の心あたたまる出来事をお伝えします!

武蔵野大学附属千代田高等学院 SDGs の取り組み

最近 ボランティアセンターの窓口には、ボランティア保険の申込みにくる生徒たちがいます。スタッフが対応するさなか、ふと顔を上げると制服には色鮮やかなバッジが。そのバッジを尋ねたところ、学校としてSDGsに取り組んでいるとのことでした。ボランティアセンターとしてこれは見逃せない! と思い、話を聞きに行ってきました。



武蔵野大学附属千代田高等学院(千代田区四番町)は武蔵野大学と連携し、SDGs「持続可能な開発目標」に取り組んでいます。学生と地域の方にSDGsを知ってもらうため、生徒会がイベントを企画。2019年は「SDGs・メダルプロジェクト」を行いました。このプロジェクトは、SDGsのひとつ、目標12「つくる責任 つかう責任」につなげるた



武蔵野大学附属千代田高等学院
近藤先生

め、不要な小型家電を集め、リサイクルし、東京オリンピック・パラリンピックのメダルにしていこうという取り組みです。学校説明会などのイベントで学生さんだけではなく、学外の人にPRすることで、多くの方々から協力を得ることができたそうです。生徒さんだけでなく、地域の方からの協力も多かったようです。

生徒会長の菊池さんは「大人、子ども関係なく、誰もがSDGsを取組める社会をつくっていきたい」と意気込みをお話していました。現在、学校イベントとSDGsを絡めたプロジェクトを企画中とのことです。今後の千代田高等学院の取り組みから目が離せません!がんばっている生徒さんのお話を伺い、ホッとしました。



武蔵野大学附属千代田高等学院
菊池生徒会長

※2019年6月現在、「SDGs・メダルプロジェクト」は終了しております。

ボラセンスタッフレポート サポートで大切なのは「相互協力」の関係

ボランティアセンター登録グループ「おもてなしボランティアグループ ちよだ(おもちよ)」で、活動のスキルアップを目的とした、車いすユーザーを招いた学習会を行うとのことと取材に行ってきました。

今回は、区内の企業等で働いている方や車いすユーザーの皆さんの日常生活で感じていること等を聞きました。

例えば、通勤等で駅を利用する場合、「駅のホームで介助されることが怖い。これはホームドアがあるところはよいが、ないところは線路が近く、不安になってしまうため。」「駅で介助を頼むと時間がかかってしまい、待っている間に自分の乗りたい電車に乗れない可能性もあるため、できることは自分でやっている。また、駅員さんが持ってきてくれるスロープがあればあったでよいが、なくても乗れる場合もある。」



ほかにも、「買い物に行くとき棚の高い位置の商品や、冷蔵庫に入っている飲み物などは取れないことも多い」等。



また高齢の方の場合は、「1日中ベッドにいと筋力も落ちてしまうため、できる限り車いすに座ることを心掛けるようにしている」と家族の方の話がありました。

話を聞いた後に、どうやってサポートしていくことがよいのか、講師の皆さんからメッセージをもらいました。

「障がい者は介助されるべきではなく、介助する側とお互いがウィンウィンの関係であるべきで相互協力の関係ができるとよい。」

「またサポートが必要な度合いは人それぞれなので、そのことを確認しながらサポートすること。過剰なサポートはかえって相手に負担がかかってしまう。」

「相手がどのように思っているのかを確認するために、声掛けがポイント。」

「断られることもあるかもしれないが、声をかけてもらえると嬉しいので、勇気をもって声をかけてほしい。」

あらためて車いすユーザーの方の話を聞いて気がつくこともたくさんありました。今後のボランティア活動に役立つことと思います。



ボランティアセンター 開室時間の変更について

2019年4月1日(月)より、ボランティアセンターの開室時間に変更になりました。ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

<開室時間>

月曜日～土曜日 8:30～17:15

※日曜日・祝日・年末年始は休み

ボランティア情報ステーション 設置場所(神田公園地区)

●公益財団法人 まちみらい千代田 ●神田錦町更科 ●理容マスダ ●学校法人 駿河台学園 ●留学協会 ●塚原デンタルクリニック ●公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本 ●満留賀(神田小川町) ●やぶ仙 ●かんだ串亭 ●ネオリープ ルカ ●リム(有)カットイン セゾン ●特定非営利活動法人 神田学会 ●小川歯科クリニック ●城南信用金庫 ●区立千代田小学校 ●神田外語学院 ●吉岡歯科医院 ●島田眼科クリニック ●稲荷湯 ●司一町会 ●内神田鎌倉町会 ●スポーツセンター ●浅野屋本店 ●神田丸屋 ●満留賀(内神田) ●中国料理 華福 ●神田江戸ツ子寿司 江戸の家 ●ヘアーサロン ミヤビ ●バーバーノシロ ●HAIR SALON みつは ●ラフィネ ランニングスタイル ●城南信用金庫神田支店 ●区立千代田幼稚園 ●神田公園出張所 ●神田まちかど図書館 ●松月庵 ●米むら ●ヘアーサロン セキネ ●山本歯科 ●恵比寿 ●理容ワコウ ●株式会社ハセガワ

ご協力ありがとうございます。

一覧は、ボランティアセンターのホームページの「関連・協力団体のリンク」でご覧いただけます。

募集中!

新しく置いていただけたところを募集しています。詳しくは、下記連絡先へお問い合わせください。



発行 社会福祉法人千代田区社会福祉協議会 ちよだボランティアセンター

〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-10 かがやきプラザ 4 階

開室日・時間: 月～土曜日 8:30～17:15 (※日曜・祝日・年末年始はお休み)

TEL 03-6265-6522 FAX 03-3265-1902

URL <http://www.chiyoda-vc.com/> E-mail volunteer@chiyoda-cosw.or.jp

今回の表紙は、武蔵野大学附属千代田高等学院の近藤先生と生徒会長の菊池さん。生徒会の活動の一環として SDGs に取り組んでいます。小型家電の回収プロジェクトは学外からの協力も多かったそうです。現在、SDGs に関連した次の企画を考えているそうです。楽しみです。(撮影地:千代田高等学院)

当センターのホームページは、(株)大塚商会様の社会貢献活動の一環としてご提供いただいております。

ボランティア情報マガジンは、「発送ボランティア」の皆さんのご協力と送付作業を行っています。



ちよだボランティアセンターHP ▶